

話じやれ (31)

岐久 ようこ

朝の時間帯

台湾の朝ごはんは
家で作るより屋台やお店で
食べたり買って帰って食べます
なので

「台湾の街は早起き？」

活気に満ちている

日本の朝

こんなご家庭もあるのかな？

パパが朝食と高校生の弁当作り

「いいえ」

「昨日作っておいたもの」

休日でエビフライに挑戦して

弁当にも入れてやった

「弁当ぐらい作ってやれよ」

ある日、荒れだして

とうとう山の神は家を出ていき

仲直りはできず離婚に

息子には弁当を是が非でも
持たせることに

台所 みがかず顔を 磨く妻
磨いたら 夫と子供 捨てました



月へ荷物は届かず

世界で初めてとうたわれ

東京のベンチャー企業が開発

アメリカの民間企業スペースXのロケットに
搭載した機器

フロリダ州の発射場から

「月面への着陸」チャレンジ

2022年12月に打ち上げた

あと4ヶ月たって

「もう、少しなのに通信が途絶えた！」

「何かに衝突したかな」

こちらは「ロケットH3」

鹿児島から打ち上げられたが

「アアー」見守っていた大勢の

ファンの目前で失敗

「2段目が着火せずだって」

モウモウと漂う白煙は

「ぼやき」か「ボヤカシ」か

「2千億の先行投資」は

必ず今後のためになるでしょ

1億2千万人が支えます

指令部の 破壊せよの 命令に

ロケット 迷うことなく アバヨ



サクランボの新種

デビューしましたのでご案内します

「やまがた紅王」と呼びます

店頭ですでに知られている

「さとうにしき」よりは

ちよつと早く熟れるのが特徴ですが

又弱みなのです

病気、害虫に霜がおりる

今冬のように暖かいと花芽は

「早いけど防寒着ぬいでしまおう」

そこに氷点下の霜で

雌しべがやられてしまう

フイの霜に

「所により霜が下りるかもしれない」と天気予報

我が家ではやられました

5年めの初出荷なのに

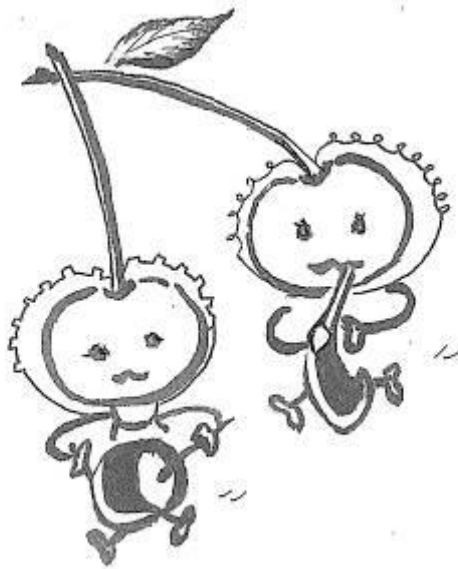
「所により霜」とは

ここらだったんですか

やられた雌しべは人工授精で

回復させて

五百円玉 ほどもある サクランボ
初めまして 真赤つかで 挨拶して



確かに植え込んだが

だれかが庭にこっそり忍びこみ

スイセンの球根イタダキ

そうなると「ドンドン増やさねば」

やがて和水仙ばかりか

ラッパ水仙など所狭しとなる

そこで競馬場跡地の周り

溝の石や土を除け

フェンス際に球根を植え込む

翌春ラッパ水仙が6つ咲く

「紅色が目立ちすぎたかな」

初夏の皆さん一斉の掃除のおり

刈られた

水仙を雑草と一緒に引き抜く若い女

「ハテ、見かけたことない？」

「庭のもゴツソリ抜いた女？」

抜いた草に水仙の球が混ざってる

「これ、片づけるわネ」と言っ

フェンス内に雑草ごと放り込む

芽が出たならの話だが

そこなら抜かれないだろう

「中国選手に勝てた！」

激闘のすえ

中国越えをなした新エース早田ひなさん

世界選手権 フェンス越え 球はじく

左きき なぜか石川先輩と 同じだネ

